



配偶者暴力(DV)被害者の早期発見と適切な対応

～妊産婦と子供の被害を中心に～

東京ウィメンズプラザでは、配偶者暴力(DV)被害者の支援に関わる職務関係者を対象に、研修を実施しています。
今年度は特に妊産婦へのDVを取り上げ、母子へのDVの影響と被害者早期発見のポイントについて理解を深め、保健・医療現場での対応のコツを学びます。



◆オンライン研修(Zoom ミーティングライブ配信)◆

日時：令和 6年 3月 7日(木) 13:30～16:10

受付開始 13:15

<p>【講義】13:30～16:00</p> <h3>妊娠中の母親と子供へのDV —発見と対応の基礎知識—</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・DVとは何か ・妊産婦に特徴的なDV被害 ・DVが妊産婦と子供にもたらす影響 ・職務関係者の基本姿勢と初期対応のポイント ・DV被害者本人以外への対応について ・質疑応答 	<p>【講師】</p> <h2>キタ 幸子さん</h2> <p>(助産師・ 東京大学大学院医学系研究科 健康科学・看護学専攻 家族看護学分野 講師)</p>
<p>【情報提供】16:00～16:10</p> <h3>医療関係者のための配偶者暴力被害者対応 マニュアルについて</h3> <ul style="list-style-type: none"> ・東京都のDV被害者支援体制 ・マニュアルの活用方法について 	<p>【情報提供】</p> <p>東京都生活文化スポーツ局 男女平等参画課 職員</p>

●対象

保健・医療関係者（医療ソーシャルワーカー、医師、看護師、助産師、保健師等）

都内区市町村男女平等参画施策担当課、男女平等参画センター、福祉事務所、児童相談所等の職員・相談員及び職務として女性や子供の支援に関わる関係者も受講可能です。

申込締切：2月29日(木) ※ 申込みに際しては裏面の注意事項を必ずお読みください。

【講師プロフィール】

キタ 幸子さん（助産師・東京大学大学院医学系研究科健康科学・看護学専攻家族看護学分野 講師）

2015年に東京大学大学院医学系研究科で博士学位を取得後、2015年～2022年まで同大学家族看護学分野の助教、国立成育医療研究センター研究所の研究者を経て、2022年4月から同大学家族看護学分野の講師に就任、現在に至る。専門分野はパートナーからの暴力(Intimate partner violence、DV)、子ども虐待、トラウマリカバリー、家族の多重暴力(Family poly-victimization)、暴力の世代間連鎖などであり、暴力がない社会、暴力の当事者が健康回復できる社会を目指して研究を行っている。



参加申込

以下の専用申込フォームよりお願いいたします。

申込フォーム URL

<https://logoform.jp/form/tmgform/381475>

QRコード



こちらからもアクセスできます→

申込締切: 2月29日(木)

- ★ **メール・電話・FAXでは受付けておりません。**
- ★ 同一端末で複数名が受講する場合も、全員分のお申込みをお願いいたします。

◇受講までの流れ◇

- お申込の皆様メールアドレスに、配信URL、研修用サイト等の情報が掲載されている受講案内メールを、**3月5日(火)まで**にお送りいたします。
- 受講案内メールが届かない場合は、**3月6日(水)12:00まで**に下記問合せ先までご連絡ください。研修当日にご連絡いただいても、対応できかねますのでご了承ください。

◇注意事項◇

- ご参加いただけない場合のみ、こちらからその旨のご連絡を差し上げます。
- 申込者のみ受講できます。配信URLの転送、共有は固くお断りいたします。
- 研修内容の無断録音・録画・スクリーンショット撮影・ネットへの転載は禁止です。
- 後日のアーカイブ配信はありません。
- お申込時に取得した個人情報は研修運営以外の目的で使用することはありません。

<問合せ先>

東京都生活文化スポーツ局 東京ウィメンズプラザ 事業推進担当
〒150-0001 渋谷区神宮前5-53-67
Tel: 03(5467)1980
E-mail: wkoza@tokyo-womens-plaza.metro.tokyo.jp